



栗駒山山行報告

【山行日】2018年 10月 3日(日) 晴れ

【集 合】栃木市運動公園P AM 3:00

【費 用】マイカー2台 : 8,000円

【メンバー】CL:鈴木、安西、大西、岡、関、
関口、五月女、鶴見、成田、福島

【コースタイム】栃木市運動公園 P3:00=いわ
かがみ平 P6:55/7:20~東栗駒山 8:55/9:05~
栗駒山 9:50/10:20~中央コース展望所 10:40

~いわかがみ平 P11:30/12:20=栃木市運動公園 17:10

山行アンケートで「平日日帰りで栗駒山の紅葉が一番良い時に山行をお願いします」とあり、過去の紅葉情報から10月3日に計画した。3ヶ月前に計画するので当るか心配したが、紅葉はドンピシャリで見ごろだった。ただ2日前に台風24号が本州を縦断し、せっかく色づいた紅葉を半分散らしてしまっただ。それでも予定通り栃木市運動公園を3時に出発し、いわかがみ平へ向かった。東北道をひたすら北上し、若柳金成ICで降りて県道4号線から42号線を走りいわかがみ平に着く。

いわかがみ平の駐車場はほぼ満車で、ようやく奥の駐車スペースに止めることが出来た。

満車になると2.5Km下の臨時駐車場に止めて、ここまで道路を歩くことになるのでホッと胸をなでおろす。準備を整えたらトイレの近くに移動し、トイレを済ませストレッチを行って出発する。

駐車場からすぐ右側に登山口があり、ここから東栗駒コースを登って行く。溝状にえぐれた登山道は、所々に水溜りがありとても歩きにくい。

岩の段差も多く、ロープやハシゴで段差を越えるのでゆっくりしたペースで登る。頭上の木々は赤

色づきとても綺麗だが、強風にあおられて大きく揺れていた。1時間ほど登ると新湯沢に出て、ナメ状の沢を100mほど登ると渡渉地点に着く。ロープが張っており、ロープに沿って沢の左岸に渡



渉する。ここからはハイマツの中を歩く登山道になり、岩交じりの砂礫帯になるとほどなく東栗駒山に着く。山頂は風が強かったが見晴らしがよく、赤や黄に染まる灌木の紅葉やピラミダルな栗駒山が美しい。小休止してナシや菓子をいただきながら景色を楽しんだ。

ここからは平坦なハイマツ帯に点在する溶岩の岩塔を越えて進み、裏掛コースへの道を右に分ける。この付近は栗駒草原と呼ばれ、陽射しに輝く草紅葉がとても美しい場所だ。

しだいに傾斜が急になり、左から階段の中央コースを併せると山頂は間近だ。最後に階段状の急坂を10分程頑張ると、台地状の栗駒山山頂に着く。独立峰の山頂は360度の眺望を得られるが、雲が多く蔵王連峰や月山などの遠望は得られなかった。山頂には大きな標柱があり、標柱の前で記念写真を撮ったら西側の平らな場所で休憩する。リンゴや菓子など食べ切れない程出て、写真を撮りながらゆっくりいただいた。ゆっくり眺望を楽しんだら下山する。下山は来た道を中央コースへの分岐まで戻り、ここから中央コース下ることにする。中央コースは栗駒山の紅葉を存分に楽しめる登山道で、観光客は中央コースの展望台まで往復する方がほとんどだ。先日の台風24号でドウダンの紅葉



は散っていたが、カエデの紅葉は残っており山腹を錦の絨毯に染めていた。皆さんも「ウワ～綺麗」を連発し、夢中でシャッターを押していた。最高の紅葉が記憶にある我輩は少し不満だったが、初めて見る皆さんには感動していただき、満足していただけたようだ。写真を撮りながらのんびりと下るが、下りにしたがって登って来る人が半端でない。人とぶつからないように気を付けながら下ると、やがてレストハウスの前に出た。ここから駐車場に戻り、

靴を履き替えたら駐車場の一角でランチタイムとする。本日の山ご飯は、キノコたっぷりの天ぷらうどん。おにぎりと一緒に食べる温かいうどんは、格別に美味しく感じられた。食後のお茶を飲んだら後片付けをして、荷物を車に積んで帰路につく。途中、山の駅「くりこま」に寄り、野菜やお惣菜のお土産をゲットし栃木市運動公園に向かう。帰りの車中も賑やかにおしゃべりし、往復650Kmの長旅を無事に終わることが出来た。

